

正算 補予

筑紫野市一般会計補正予算が成立しました

小中学校ICT環境整備など 新型コロナウイルス感染症対策を進めます

令和2年度一般会計補正予算が6月26日(金)の市議会6月定例会で可決、成立しました。

今回の補正予算では、新型コロナウイルス感染症対策のため、子どもたちの教育環境の整備を行うとともに、地域経済への影響を鑑み、追加支援策を予算計上しています。

主な補正予算の内容

事業名	予算額
小中学校ICT環境整備事業	763,518千円
生活支援商品券配布事業	49,466千円
臨時特別妊娠出産応援金支給事業	92,670千円
子育て世帯拡大特別給付金支給事業	22,992千円
届出保育施設感染症対策補助事業	7,500千円
地域活性化商品券補助事業	20,000千円
家賃軽減支援事業	74,926千円
ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業	137,814千円
スクール・サポート・スタッフ等配置事業	43,595千円
学校再開支援整備事業・学校保健特別対策事業	56,081千円
幼稚園感染症対策事業	500千円

小中学校ICT環境整備事業

国が提唱する「GIGAスクール構想の実現」を踏まえ、ICTを効果的に活用した教育活動を推進し、これからの情報社会で活躍する人材を育成するため、市立小中学校の児童生徒に対し1人1台のタブレット端末などを整備するとともに、学校等における情報通信ネットワーク環境を整備します。

●教育用タブレット端末整備

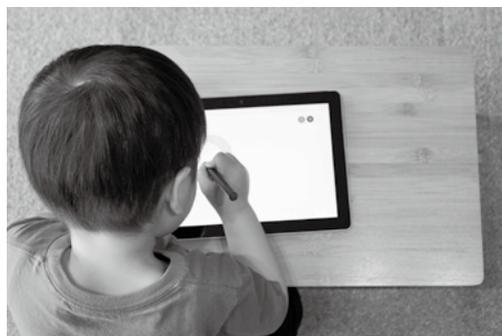
小中学校の児童生徒に1人1台のタブレット端末および学習支援ソフトなどを整備します。

●校内情報通信ネットワーク環境等整備

タブレット端末を最大限かつ効果的に活用するため、無線による通信環境および専用の充電保管庫を整備します。

●オンライン授業実施のための環境整備

緊急時における臨時休校等により、双方向の学習支援(オンライン授業)を実施することとなった場合の環境を整備します。



●ここに掲載しているもののほか、各支援策については、対象者への通知や広報紙、市ホームページでお知らせしますのでご確認ください。

●ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業については、6ページに詳細を掲載しています。